



今年も開催!マイナビ ツール・ド・九州2025 / 国際サイクルロードレースで九州の自然・文化の魅力を世界に発信



「ツール・ド・九州」は、国際自転車競技連合(UCI)の認定を受けた日本屈指の国際サイクルロードレースで、今年は3回目の開催です。大会の立ち上げには、九州商工会議所連合会(会長=当所・谷川会頭、構成=九州内78商工会議所)をはじめとする経済団体のトップと九州各県の知事で構成される「九州地域戦略会議」において2019年から議論・検討が進められ、九州の魅力の世界に発信すべく、様々な想いや仕掛けが込められました。今回は、大会を通して目指されることや地域経済にもたらす効果などをご紹介します。

※本誌面は、(一社)ツール・ド・九州提供の素材や資料を基に当所で作成しています。

エースを先頭でゴールラインに!チームで勝利をつかむサイクルロードレースの世界

サイクルロードレースは、一般公道などを舞台に100kmを超える長距離を走破し、先頭でゴールラインを駆け抜けた選手が勝者となる個人競技です。日本ではまだ馴染みが浅いスポーツですが、世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」は、オリンピックやFIFAサッカーワールドカップと並ぶ世界3大スポーツイベントといわれています。世界190カ国でテレビ中継されるほか、約1,500万人もの観客が沿道に詰めかける世界的なスポーツです。

世界が熱中する理由のひとつに、各チームが繰り広げる「駆け引き」があります。各チームは、列車のように隊列を組んで走ることでチーム内で最も力のあるエースを空気抵抗から守り、力を温存させながらレースを進めます。そして、ゴール直前にエースたちが勝負を仕掛ける瞬間、レースは最高潮になります。エース1人の優勝のために、チームで戦略をたてて何百kmものレースを展開することから、チームスポーツともいわれています。

知っていればレースがもっと面白くなる!基礎知識

チーム構成と役割



〈エース〉

総合優勝やスプリント賞、山岳賞など、チームを代表して個人での勝利を目指す役割。多くの場合、エースはゼッケン番号の1の位に「1」を着けており、ハイスピードで駆け抜ける選手たちを見分けるポイントとなる。「勝者が天を仰ぎ、続く選手たちが地を見つめる」ゴールラインのウィニングポーズは、エースたちの白熱した戦いを物語る一コマである。



〈アシスト〉

エースの空気抵抗を減らす風よけなどを担う役割。ゴール前の最後の駆け引き直前までエースを先導し、トップスピードでスタートさせる「発射台」となったり、峠でエースを牽引したりと、エースの脚質によってアシストメンバーを構成。

選手の脚質

〈スプリンター〉



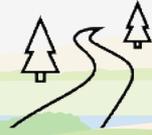
平坦なコースを得意とする選手。ゴール前のスプリント以外にも、コース途中に設置されたポイントでの順位を競うスプリント賞などで活躍。スプリント賞を狙い、集団から飛び出すタイミングの駆け引きは必見!

〈クライマー〉



山岳コースの登坂を得意とする選手。山頂での順位を競う山岳賞などで活躍。相手チームの体力を消耗させる駆け引きによって大きなタイム差が生じるため、各チームの戦略を見比べるのも観戦の醍醐味!

〈オールラウンダー〉



平坦なコースも、山岳コースもバランス良く力を発揮する選手。チームのメンバーが落車などのアクシデントに巻き込まれた場合には、エースの代役を務めたりすることもある。

「ツール・ド・九州」がもたらす地域への効果



「ツール・ド・九州」は、福岡市や熊本市、大分市も開催地となった「ラグビーワールドカップ2019」におけるスポーツレガシーの継承、サイクルツーリズムの推進、度重なる自然災害からの復興など、様々な想いが込められて設置されました。

そのため、九州の豊かな自然や文化の魅力を国内外に発信できるコースの設計、自然環境に配慮した運営など、単なるサイクルロードレースの域にとどまらない、「持続可能な九州の未来」を目指すイベントとなっています。

イベントが九州にもたらす効果は非常に大きく、2024年の観客数は約10.1万人にのぼり、経済波及効果は26.5億円となりました。宿泊や飲食など多方面での消費が生まれ、地域ブランドの価値向上に寄与しています。誕生から間もない大会でありながら、規模としては国内最大級のサイクルロードレースとなっています。

2025年の大会では、新たに長崎県と宮崎県がコースに加わり、さらなる盛り上がりが見込まれています。今後は、九州全県での開催が目指されるほか、世界に誇る日本屈指の国際レースとして九州の主要イベントの一つに育つことが期待されています。

観客数

10.1万人

出典：ツール・ド・九州2024
大会委員会



経済効果

約26.5億円

大分ステージ：約10.1億円
熊本ステージ：約5.8億円
小倉城・福岡ステージ：10.6億円

出典：㈱日本政策投資銀行 九州支店/2025年3月公表



マイナビ ツール・ド・九州2025 いよいよ10月開催！



させぼ五番街



詳細はこちら



期間

2025年10月10日(金)～13日(月・祝)

開催地

長崎県、福岡県、熊本県、宮崎県、大分県

参加チーム

国内外計18チーム(予定)



八女大茶園

0：佐世保クリテリウム 10/10

(佐世保市)

走行距離：約4.5km
(佐世保駅の周辺約1.5km×30周)

高度なテクニックが求められる急カーブと直線が入り混じるコース。選手が目の前を何回も通るため、臨場感バツグン！

1：福岡ステージ 10/11

(筑後市～八女市)

走行距離：約121km

伝統的建造物群保存地区に選定された重厚な町家や蔵が並ぶ「旧黒木町」の中心部などを走る歴史・文化を感じるコース。そこでのスプリントポイント争いは必見です！また、大会中最多の6回におよぶ山岳賞(KOM)ポイントは白熱すること間違いなし！



2：熊本阿蘇ステージ 10/12

(南小国町～産山村～阿蘇市～

高森町～南阿蘇村)

走行距離：約115km

世界最大級のカルデラ地形を活かしたアップダウンの激しいコース。壮大な自然をバックに、山を得意とするクライマーたちが生き生きと走り、迫力満点のレースを楽しむことができます！



3：宮崎・大分ステージ 10/13

(延岡市～佐伯市)

走行距離：約120km

2県を跨ぐコース。スタート後に市街を走るパレード走行では、延岡市商店街のアーケードを選手たちが通ることで、地域活性化が期待されています。また、大分県屈指の景観を誇る空の公園など、海を感じながらレースを楽しむことができます！

記事に関するお問い合わせ / 企画広報グループ TEL：092-441-1112

ツール・ド・九州全般のお問い合わせ / (一社)ツール・ド・九州 TEL：092-981-3020